

番号	
項目	<p>平成 23 年度環境省の調査で、コアジサシの巣が 1500 記録されており、2019 年 5 月の我々の調査でも営巣行動が確認されています。昨年 6 月コアジサシの繁殖の調査は、何日に、何人で、どのエリアを調査したか、その調査を具体的に教えていただきたい。過去の繁殖記録からも、工事車両が通過しない場所を確保すれば、多数のコアジサシが営巣する可能性があり、後述するように、ミティゲーション措置を求めます。</p> <p>また、保全協会の要望書はコアジサシだけではなく、希少な水草や水鳥の保護を求めたものです。それに対して、大阪市の回答書では、コアジサシへの環境省の保全・配慮指針のみ論及しています。また、埋立の法的手続き論に終始しており、現実に存在する生物を無視しています。</p>
	<p>(回答)</p> <p>土砂搬入工事（土地造成）において、現地工事着手する前の令和元年 5 月 30 日に 10 名程度で工事施工範囲約 30ha 内にコアジサシの飛来、繁殖の有無について目視による現地調査を行い、6 月には工事着手に影響がないことを確認しています。</p> <p>現在、土地造成を進めている夢洲の中央部は、今後、事業用地として、万博の開催や国際観光拠点の形成に向けて基盤整備や施設整備などの事業を推進していくこととしており、現状の環境を保護することは困難であると考えています。ただし、コアジサシと同様に法令等により捕獲などが禁止されている希少生物が確認された場合は、関係法令に基づき対応していきます。</p>
担当	<p>港湾局営業推進室開発調整課 電話：06-6615-7791 港湾局計画整備部保全監理課 電話：06-6615-7821</p>

番号	
項目	<p>土砂投入工事（埋立）に対して、改めて要望したいと考えます。</p> <p>大阪市は2019年2月14日の報道発表資料で、「夢洲地区における土地造成、基盤整備のための調査・設計（56億200万円）（1）国際博覧会会場の土地造成」と発表しており、現在の土砂投入は万博事業のためであるとしています。万博の環境影響評価実施後に行うべきです。</p> <p>雨水のたまった池は時には万を数えるほどのカモ・シギ・チドリが羽を休める渡りの一大中継地となっています。水辺を安易につぶせばシベリア・オーストラリア方面のルートを利用するこれらの生きものの生存行動に大きな影響を与えます。鳥類その他生物の生息に配慮していただきたく要望します。</p> <p>こちらとしては渡り鳥の中継地の代替措置（ミティゲーション）の提案をいただき、それらが実現するまでは土砂投入工事を止めていただきたいと考えますが、具体的にどのような配慮をしていただけるのでしょうか。</p>
	<p>（回答）</p> <p>報道発表資料にある「国際博覧会会場の土地造成」については、1977年に取得した夢洲の公有水面埋立免許取得時において当初から計画していた埋立の一環として、万博会場として使用する区域の土砂投入工事（土地造成）を行うものであり、万博そのものの事業ではありません。</p> <p>そのため、大阪市環境影響評価条例に基づき、万博会場の整備（開発行為）や舞洲に設置を計画している駐車場候補地を対象に、それらが周辺環境にどのような影響を及ぼすのかを調査・予測・評価するために実施する万博の環境影響評価には、万博事業ではない夢洲の土砂投入工事（土地造成）は含まれていません。</p> <p>夢洲の土地造成・埋立については、先日も回答したとおり、公有水面埋立法に基づく環境影響評価を行い、コアジサシに対しては環境省の保全・配慮指針に基づき工事を実施しております。</p> <p>なお、夢洲の南東に位置する咲洲には、多数の野鳥、渡り鳥が飛来する野鳥園臨港緑地がすでに整備されています。</p>
担当	港湾局営業推進室開発調整課 電話：06-6615-7791

番号	
項目	<p>環境省の保全・配慮指針には、繁殖地を保護保全する指針と繁殖地をつくらせない指針とが含まれています。大阪府レッドリストで生物多様性ホットスポットの A ランクに指定され、いのち輝くをテーマとする博覧会会場となる夢洲では、当然、繁殖地を保護保全する対応を強く求めます。</p>
<p>(回答)</p> <p>環境省の保全・配慮指針によると、夢洲については「埋め立て地などの事業用地」に該当することとなります。この「埋め立て地などの事業用地」におけるコアジサシの繁殖地の保全・配慮の考え方については、事業推進のため繁殖利用をさせない、もしくは事業利用するまでの間、コアジサシに用地を提供するという 2 通りが示されています。</p> <p>現在、土地造成を進めている夢洲の中央部は、今後、事業用地として、万博の開催や国際観光拠点の形成に向けた事業推進が必要であることから、繁殖利用させない前者の考え方にに基づき対応することとなります。</p> <p>夢洲の土砂投入工事においては、工事着手前にコアジサシの飛来、繁殖の有無について確認するとともに、繁殖期に入る前の今年 2 月から防鳥用吹き流しを設置するなどの営巣防止対策を実施し、保全・配慮に努めている所です。</p> <p>今後、夢洲内で発生する工事、開発においても、法令等に基づき、対策を講じながら進捗を図ってまいります。</p>	
担当	<p>港湾局営業推進室開発調整課 電話：06-6615-7791</p>